

御使用に際してのヒント

- 1) 屋外で作業をする際には、本製品を溶かした溶液を入れたバケツなどの容器は、なるべく身近に置いて、作業をして下さい。深いバケツを御使用になれば、棒状の木材等の切り口や、年輪の部分に浸すことが出来て便利です。
- 2) 大量の場合は、水槽やタンクなどに溶かした溶液をため、その中に木材を浸して下さい。最低10分間位は漬けておいて下さい。
- 3) 作業終了後の洗浄は、簡単です。暖かな湯と石鹸で、手や使用した道具などを洗えばよいだけです。シンナーや有機溶剤などは、一切必要ありません。
- 4) 白蟻防除効果を高める為には、日本薬局方「ホウシャ」を、ウッドロングエコを溶かす水、1リッターに対して、75グラムの割合で溶かして塗布して下さい。但し雨等水のかかる場所には、不向きです。

〈御注意〉

- 本製品によって塗装処理をし、一度乾燥した木材は、土壌や水などを汚染致しません。もちろん庭木、ペットにも無害ですし、子供たちが触れても安全です。
- 乾燥粉末の状態では、濃縮されていますので、強酸性です。乾燥粉末そのものを、吸い込まないようにご注意ください。又乾燥粉末が、目などに入った場合は、すぐに流水で15分間以上目をすすいだ後、強酸性であることを告げ、医師にご相談下さい。
- もし溶かした溶液を飲み込んだ場合は、胃腸を荒らすことがありますのでご注意ください。その場合、医師にご相談下さい。
- 又、溶かした溶液が衣服につくと、落ちないしみとなりますので、ご注意ください。
- ウッドロング・エコを塗布する以前にすでに腐朽菌が入り込んだ木材に対してウッドロング・エコを塗布しても腐りを止めることが出来ない場合があります。
- ウッドロング・エコの効果の存続期間は、その国の気候や環境、又施工の場所の条件などにより、当然差異が現れてくると考えられます。日本での過酷な腐朽試験の結果では、主に広葉樹材に発生する白色腐朽菌に対しましては、木材防腐剤の基準であるJISK1571と同等の効果があり、主に杉、ヒノキ等の針葉樹材に発生する褐色腐朽菌に対しては、無塗布の材に比べて、経時的に約2.2倍の腐朽を遅らせる効果があることが認められています。
- 本製品を塗布した場合、通常の鉄釘などが表面にあれば、さびを生じさせる一因となります。高品質のもの、たとえばステンレスあるいは、電気焼付けした釘、金物などの使用を推奨しております。
- 万一、本製品の使用に関し損害等が生じた場合でも、一切保証・弁済等は致しておりませんので、本使用説明を熟読の上、適切に判断されご使用ください。

